



うたごえ ひびいて お祭りだ (黒岩中央保育所)

あかわ

Sakawa

59
2014.8.1

議会だより

発行 高知県佐川町議会

6月定例会

contents

目次



夏だ プールだ うれしいな (花園保育園)

平成26年 6月補正予算 9015万円を増額 2

農協改革 地域への影響は (一般質問) 7

議会懇談会 (女性の参加が増加) 14

あれはどうなったが? 17

一般会計 6月補正予算 9015万円の 増額補正を可決

6月定例会は、6月6日から11日までの会期で開かれました。
 平成26年度の補正予算をはじめ、議案5件、同意案1件、報告1件、承認4件、常任委員会の発議による意見書2件を採決の結果、賛成全員で全件可決しました。
 一般質問には、9名の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。

平成26年6月補正予算

(単位：円)

会 計 名		補正額	補正後の額
一 般 会 計		9,015万	60億8,036万
特別会計	国民健康保険	△ 309万	18億9,571万
	介護保険	△ 571万	17億5,949万
	後期高齢者医療	△ 274万	2億1,429万



承認案件

税条例の一部改正

地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、軽自動車税の税率の見直し等、税条例の一部を改正する。

国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を現行14万円を16万円に、介護納付金課税額に係る課税限度額を現行12万円を14万円に引き上げる。

低所得者の軽減措置の対象を拡大するため、国民健康保険税の5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引き上げ等を行う。



補正予算で出された主な内容と
それに関連した
議員の質疑を紹介します。



6月補正予算 ピックアップと 関連質疑

介護保険施設等

開設準備支援事業

2348万円

地域密着型特別養護老人ホームの開設に伴う補助

森議員 補正予算で組まなければならぬ理由は、また事業の内容、規模、開設時期を問う。

新エネルギー等

活用促進事業

945万円

健康福祉センターかわせみに設置予定の太陽光発電設備について、災害時に必要な場所の照明器具をLED照明に交換する費用

坂本議員 補正の内容について説明を願う。

岡崎健康福祉課長 施設開設時期の遅延により、26年度補正となった。特別養護老人ホーム29床、グループホーム9床で11月1日サービス開始予定。

渡辺産業建設課長 かわせみ153基の蛍光灯等をLED化する予算が抜け落ちていた。そのため補正。



荷稻に建設中の特別養護老人ホーム

木質資源利用

促進事業

724万円

木質資源を利用した施設園芸用加温機の設置(2力所)に対する補助

岡村議員 補助金の内訳を聞く。

渡辺産業建設課長 ペレットボイラーを活用したニラの加温装置だ。これは県と国で100%補助がある。



LED化される かわせみの蛍光灯

総合文化センター

管理費

897万円

公民館及び体育館を耐震診断する費用

小学校耐震化事業

212万円

佐川小学校特別教室を耐震化するための実施設計にかかる費用

遊学館管理運営費

368万円

遊学館を耐震診断する費用

社会福祉総務費

336万円

みんなで福祉のまちづくり黒岩部会へのテナント、テーブル、いす等の購入費

その他の質疑

下川議員 3月定例会後の機構改革でチーム佐川推進課の創設に伴い増額した補正内容を問う。

横山総務課長 新しく編成された職員の給料、手当、共済費等とチーム佐川推進課及び総合計画に従事する職員分の超過勤務手当を増額。



意見書

国にもの申す

総理大臣をはじめ、
関係機関に意見書を提出

原子力規制委員会による伊方原発の現地調査を強く要請する。

原発事故時の避難について福島事故の現実を見た真剣な検討を求める意見書

原発事故における避難の問題は、一時的な避難だけでは済まされない。福島事故で発生しているように、きわめて多くの世帯が数年間にわたって移転するほかない現実がある。この対策は、自治体レベルで解決できる問題ではない。伊方原発で過酷事故が起きた場合の居住地・就労等の移転を含む「避難対策」を明らかにすることを求める。

「最新の知見」で伊方原発の徹底検証を求める意見書

伊方原発の真下に断層等のあることを地元新聞が報じている。伊方原発は、中央構造線活断層帯が直下であり、震源からきわめて近くなる可能性が指摘されている。

議員各位の意思表明

賛否表(平成26年6月定例会)

○:賛成 ●:反対 ー:議長

	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	松本正人	永田耕朗	西村清勇	今橋寿子	徳弘初男	藤原健祐
佐川町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
平成25年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
平成26年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
平成26年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
平成26年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
高吾北広域町村事務組合の共同処理する事務の変更及び高吾北広域町村事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー

9人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

ピロリ菌検査 本町でも実施を

町長 もう一度議論し、方針出す

昨年、がん検診へのピロリ菌検査の導入について質問をしたが、1年間検討の結果どういう方向性になっているのか。全国の自治体に広がっているピロリ菌検査や、リスク検診を本町でも実施を。

岡崎健康福祉課長 現在高北病院でがんリスク検診を実施している。胃がん検診でのピロリ菌検査導入の動きが近隣市町村も含めて広がっていることは認識している。

県の指針を踏まえて、本町では考えていきたい。堀見町長 町として、どういう形で健康増進、介護予防、医療について向き合っていけばいいか、改めて、もう一度よく考えてみたい。

ピロリ菌検査をセット検診にという話は、もう一度庁議の中で議論をして、方針を出したい。

少子化対策で 婚活支援を

健康福祉課長 再考したい

少子化対策の重要な施策の柱として、本町の実情に応じた婚活支援策に取り組んでいくべきだ。堀見町長 行政がどういうかわり方をするのが一番いいのか考えないといけない。岡崎健康福祉課長 今まで取り組んでいた婚活支援について再考し、今後どういう取り組みができるか、また民間の事業者とどういった連携が取れるのか考えていきたい。

少子化対策は今、最優先課題だ。結婚、妊娠、出産、そして育児への切れ目のない支援が必要とされている。



笑顔あふれるしあわせ家族 伊藤家の皆さん

データヘルスの 積極的推進を

町民課長 研究検討し、対応

診療報酬の明細、健康診断情報等を活用し、意識付けをし、ジェネリック医薬品の促進通知、受診勧奨、訪問診療など保険事業を効果的に実施していくデータヘルス計画を作成し、積極的に推進していく必要がある。

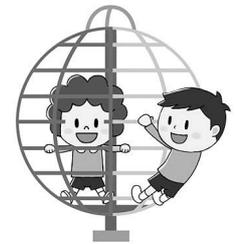
麻田町民課長 国保中央会が開発した国保データベースを導入することになっている。それが本稼働すれば、レセプトデータ、特定健診のデータ等を分析し、ジェネリック医薬品の利用促進だけでなく訪問指導等にかかわる関係各課との連携を研究検討し対応したい。



ジェネリック医薬品の利用が増えてきた



坂本 玲子 議員



放課後児童クラブ、 教室の充実を

教育長 検討していく

佐川には放課後児童クラブ、放課後子供教室がある。管轄や主旨は違っても費用、対象年齢、開所時間、開放日を地域間格差のない放課後児童プランにすべきた。また学校と支援員等との連携の促進、学校諸施設の積極的な開放、長期休暇(夏、冬、春休み)の開設等充実をすべきではないか。支援員の処遇改善の検討を。

川井教育長 クラブと教室を一体的に行うには施設面での解決とともに指導員の確保が課題になる。学校以外の施設の有効活用も考えたい。今後、学校の施設利用、情報共有の構築に努めていく。春休み、冬休みの開設については検討課題とし、子どもプランの充実について校長会で話す。指導員の処遇改善は必要なので検討していく。

防犯灯のLED化と 通学路防犯灯の積極活用を

総務課長 LED化 検討する

増大する防犯灯の電気料を町で負担するか、電気料が半分になるLEDへの交換の補助をしようか。

また、町には通学路防犯灯設置要綱があり設置費用も電気料も町の負担だ。通学路防犯灯が必要な場所にはこの制度を活用すべきではないか。

横山総務課長 防犯灯の電気料を町が負担することは困難だ。まだ使用できる防犯灯はLED化の対象外になっている。今後検討する。

通学路防犯灯については無制限には設置できないが、必要性、実用性を勘案して判断する。



まずは宿題！ 佐小ナウマンクラブ

公共施設、集会所に 洋式トイレ設置を

町長 対応していく

避難所となる公共施設や集会所のトイレは和式が多くお年寄りや障害のある方に負担がかかる。

○家庭ごみ収集委託業務における談合事件について

せめてひとつは洋式トイレの設置をしておくべきではないか。
堀見町長 トイレの改修については、全てを一気に洋式に変えることは困難だが、確実に対応していきたい。

○黒岩中央保育所の建て替えについて
○黒岩小学校は避難所として妥当か



まだまだ和式が多い公共施設トイレ



森 正彦 議員

人づくり 基本的な考えは

町長 人の良さ、強みが発揮できる町の環境づくり



もっと活用したい！ナウマングラウンド

町長は、人づくりを政策の大きな柱としている。基本的な考え方とあらましを聞く。
堀見町長 子どもの教育については家庭が基本だ。また学校での教育も大切だが、やはり地域ぐるみで教育にかかわっていくことが大切だと思う。この町が元気になるためには、人の良さ、強みが発揮できる環境づくりをすることが、町の役割だと思っている。

ナウマングラウンド 利用拡大は

教育次長 周知した

平成24年9月定例会のナウマングラウンド利用についての質問に対する答弁は、「計画を立てるかどうか検討する」「町民に周知して利用拡大に努めたい」だったが、その後どうなったのか。
川井教育長 計画については、スポーツ振興計画をスポーツ推進員が策定すべく検討している。
周知については、総合型スポーツクラブや体育会に自由に毎日使えることを連絡した。

農協改革の方針 どう捉えているか

産業建設課長 組織解体につながりかねない

安倍首相は、国内農業の強化に向け、農協、農業委員会、農業生産法人の改革を3点セットで断行すると表明した。
日本の農業は、零細な家族農業が大半で、日本の食料生産を支えている。この家族農業を支えているのが農協だ。
農協は地域の暮らしを守ってきた。今回の規制改革会議の提言の内容をどう捉えているか。

渡辺産業建設課長 今回の提言の内容は、総合農協の組織解体につながりかねない。このまま実施されれば、地域経済や農業、地域生活に与える影響は、はかりしれないものがあると非常に危惧している。
堀見町長 国が性急に行おうとしているこの改革は、基礎自治体の声も聞いて、農業の現場をよく知った上で、国として施策を決めてもらいたい。



国の改革でなくなるかも ガソリンスタンド

町民プールを医療費抑制や 介護予防に活用しては

町長 積極的に取り組む

下川 芳樹 議員



町民プールは運営開始から26年目を迎え、利用者や目的も時代とともに変化している。女性や高齢者のための健康増進、リハビリ活用などに道を開き、医療費の抑制や介護予防で保険事業費の低減につながる施設として改修し活用してみてはどうか。

町長 町として今ある施設を活用し、健康増進を積極的に取り組むことは大切だと考える。

まずは、危険性の高い天井板の耐震化を行っていききたい。その後、健康増進に向けての改修の優先順位をつけ、全体の計画を見ながら予算とらみ合せて進めていきたい。

かわせみの駐車スペース 確保は町の責任

町長 現時点では今のまま

かわせみで行う特定健診のとき駐車場が手狭なため、来庁者や周辺住民に不便をかけている。国民健康保険や介護保険の事業費抑制のため、町は保険者としてさらに受診率の向上を図る必要がある、かわせみの施設を生かすための駐車スペース確保は町の責任である。

町長 担当課長との話で、特定健診時の臨時のなものは今ままでいけるとのことだ。今後、かわせみの利用形態等踏まえて、駐車場が必要となれば検討していく。



プール活用で健康増進！



町道舗装 具体的な年度計画あるか

産業建設課長 計画 중이다

町内の重要な生活道である町道の舗装が、年数の経過や水道工事の影響で傷みが目立ち始めている。つぎはぎだらけの路面補修では安全確保が保障されないため、全面改修を行うべきだ。路線における全面改修等の年度計画はあるか。

産業建設課長 昨年度までに、町道178キロメートルの舗装路面の現状を調査し、交付金事業を活用した路面の計画的な舗装修繕を行うための路面正常調査を行った。このうち15・53キロメートルについては、平成29年度までに全面改修あるいは修繕するよう計画を立てているところである。



つぎはぎだらけの道路

その他の質問
○佐川町総合計画策定への取り組みについて



片岡 勝一 議員

緊急放送 なぜなかった

総務課長 深く反省している



防災無線施設

3月14日午前2時過ぎ、愛媛県伊予灘で地震が発生し、佐川町は震度4となっていた。しかし、防災無線での緊急放送はなかった。どうしてなのか。それでは防災無線設置の意味がない。家具の転倒防止策等も繰り返し指導するべきだ。

横山総務課長 町の防災システムは震度4以上の地震時には全国瞬時警報システムが自動で起動して瞬時に放送することとなっている。

伊予灘の地震時には起動せず放送できなかった。原因は起動設定が自動運用から手動に切り替わっていたためだ。点検の終了後、自動に戻したと作業確認票にも記載がある。どうして手動になったのかは不明であり、深く反省している。定期的な確認を行うなど、しっかりと管理していく。家具の固定等は広報等で周知していく。

独居者の 見守り対策は

健康福祉課長 ネットワークで見守り



おげんきですか？ 訪問するあつたか職員

独居者がもし怪我をしたり病気をした場合、手当てが早ければ早く治る可能性がある。民生委員、近所の方、地区の世話人を含め、多数の人たちが見守る必要があると思うが独居者の見守り対策はどうなっているか。また、徘徊者の見守りのためのGPSの活用のためはどうか。

岡崎健康福祉課長 民生委員、地域包括支援センター、町の保健師、郵便配達員、社会福祉協議会、あつたかふれあいセンター、地域ボランティアの方々で見守りのためネットワークを組んでいる。

近所の見守りは社会福祉協議会、総務課防災担当と連携して取り組み始めている。

徘徊また徘徊の恐れのある方が事前登録して警察、消防、関係機関で情報共有する佐川SOS高齢者登録制度がある。現在7名登録があり佐川町独自の取り組みである。

堀見町長 GPSの件は情報収集して研究したい。





今橋 寿子 議員

人材育成の取り組みは

町長 積極的に取り組む

住民二丁ズの多様化に伴い、職員一人一人の高い専門性が必要になっていく。人材育成の取り組み

OJTとは
仕事を通じて人を
教育していくとい
う意味

みはどのようにされているのか。先進地視察も積極的に実施すべき。
堀見町長 職員それぞれの強みを生かしあう組織をつくっていききたい。先進地視察は意義、目的を明確にして積極的に取り組むたい。
横山総務課長 人材育成基本方針は自己啓発への支援、職場外研修の活用、職場内研修の充実を柱にしている。今後、新規採用職員の研修要領、各部署におけるOJT推進マニュアルの作成等も盛り



女性の参加で町が変わる

男女共同参画 もっと女性の登用を

町長 配慮する

各種審議会等への女性の登用は185人中31人で16.8%である。国と県は34%、市町村平均は24%だ。佐川町が少ない原因は、女性を早く登用すべき。
また男女共同参画計画の町民向け啓発等の進捗状況は。
横山総務課長 組織の長で審議会をつくるので各組織の長が今でも男性が多く、必然的に女性の登用が少なくなっている。
男女共同参画計画はリーフレットを全戸に配ったり、ホームページに掲載して啓発等をしていく。
堀見町長 役場組織の中では女性の意見を聞けるようにこれまで以上に配慮していく。



観光協会のある浜口邸 お土産もあるよ

おもてなしの心で 観光振興を

チーム佐川推進課長 研修を実施

町の観光振興のためにはおもてなしの心が大切である。しかし接遇に對しての学びが十分できていない。チーム佐川推進課と観光協会、商工会、くろがねの会等との連携は十分か。
片岡チーム佐川推進課長
今後、接遇マナーの研修等への積極的な参加を勧めていく。
また観光協会の理事や会員の皆様、関係団体との検討会等を実施しプロ意識を高めていく。

総合計画 どう策定するか

チーム佐川推進課長 住民の意見集約して



中村 卓司 議員

町長は就任来、町のこれからの方向を決める総合計画は、町民一体となって策定すると発言してきた。その計画を立てる計画策定委託業者はどこか。
また、どのような時系列、メンバーで進めていくのか。

片岡チーム佐川推進課長 計画策定委託業者は、博報堂に決まった。
また、計画策定に当たって、6月から実施するアンケートや地区懇談会、住民インタビューの中から住民の方々の課題、悩みを集約し、反映させていく。
住民ワークショップのメンバーは、公募や町内の各種団体、男女、年齢等を考慮し、30〜40名ほどを選定し、最終的に平成28年3月までに策定する。

桜座、地質館、青山文庫 指定管理どうする

町長 指定管理にはしない

川井教育長 桜座は、収入が808万、支出は303万。青山文庫は、収入が90万、支出は11

地方自治体は、経費軽減のため、公的施設を指定管理に切り替えている。佐川町では、桜座、地質館、青山文庫が指定管理になっていないが、この3施設の収支はどうなっているか。
また、今後の指定管理への移行を町はどう考えているのか。

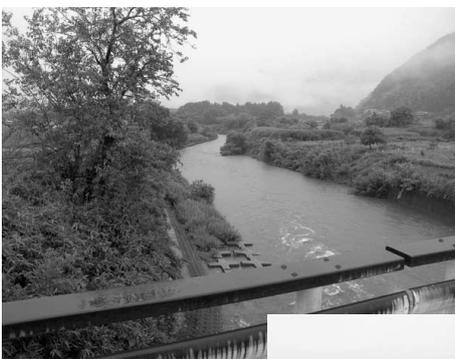


子どもも大好きな地質館

94万。地質館は、収入が188万、支出は1079万である。
その他に、既に指定管理になっている施設は、図書館と町民プール等がある。
堀見町長 桜座、青山文庫、地質館は、それぞれの役目を果たしている。現時点では指定管理には出さない方針である。
ただ、今後の情勢が変わったときや、無駄のない管理については考える必要がある。

黒岩の河川改修 後悔のない計画を

産業建設課長 将来を考え実施



動き出した
黒岩の河川改修



この河川改修工事は、未来永劫100年後、200年後に影響する事業

である。その点で、水利用への利便性はもとより、環境に優しい工法や山本から流れる川の現状改善等、後悔のない計画が必要ではないか。
渡辺産業建設課長 本年度から4千万円をかけ、庄田から柴尾までの6.1キロメートルを仁淀川中流域住民会議の皆さんと連携し概略設計を実施することになっている。それは、現状を十分に把握した上で、未来の環境に配慮した計画としていく。
今後も住民の声を聞きながら将来の利便性を考え、国、県、一体となって進める。



松本 正人 議員

土曜授業 復活の経緯は

教育長 抜かりがありお詫び

本町立の小中学校の土曜日の授業が各学期に一回、復活した。通常このようなことは教育委員会が検討され、校長会や、教職員、PTAに相談し決定されるものであると思うが、どのような経緯で決まったのか。

川井教育長 土曜授業の実施は管理運営規則で学長の判断でできるとなっている。

今回の場合は国の動向を教育委員会に報告した上で、校長に話をし、校長会の意向を教育委員会に伝えた。PTA等への報告に抜かりがあったことはお詫びしたい。



放課後児童教室 斗賀野小学校

発達障害児 夏休みの対応は十分か

教育長 新たな仕組み作り検討中

発達障害の児童を学童保育で扱う体制が昨年からは始まっているが、夏休みの対応が不十分ではなかったかという声を聞いた。今年はどういう体制を組むか。

川井教育長 指導員の確保が最大の問題。通常の日は2時間程度の対応だが、夏休みは長時間の対応が必要となる。新たな仕組みづくりを早急に検討しなくてはならない。現在検討中だ。

猿丸メガソーラー 治水対策は

産業建設課長 住民と共に不安解消



猿丸サーキット場跡地



以前氾濫した御土居川

猿丸峠の以前サーキット場があったところに民間によるメガソーラー建設の計画があり、業者が住民との説明会を開いたが、住民は発電所ができることによる水害の心配をしている。

住民が水害の心配をする根底には過去に大きな水害があり、その対応が十分でないと感じていることがある。

これをきっかけにこの地域の治水対策に取り組むべきだ。

渡辺産業建設課長 メガソーラー建設で地域の住民から河川の氾濫等への不安の声があがっている。この設置には開発許可は取れないが、住民説明会を開くよう業者に話をし、3、4回説明会を開催した。また、住民の不安に対し解消策について2回ほど業者から当課に説明があった。この地域の河川は平成22年度に改修しているが、氾濫等ないとは言えない。これを機に住民と一緒に現場を見て回り、不安を解消していくよう努めたい。

霧生関 有効活用すべき

町長 ヘリポート設置



霧生関の埋立地に佐川中学校、国道494号、佐川歩道トンネルの残土を処理することができた。そして国道沿いに3ヘクタールもの平地ができた。

この広い町有地を有効活用するためには、火薬庫の移転交渉を進め、工事を継続すべきと考えらる。町長の思いはどうか。堀見町長 現時点で火薬庫の移転について交渉する考えはない。ヘリポートの設置に向けて臨んでいきたい。残りの土地については、今後検討を進める。

昨年、8年振りのダブル選挙で町民の関心は高かったが、投票率は低く、2950名の棄権があった。投票区の変更による投票所の減少が一つの原因ではないか。高齢化社会が進む中で、投票に行きたくても行けない選挙民が生まれている。近くで投票できる方向に改善するべきではないか。

投票所の 設置拡大を

総務課長 見直し検討

横山総務課長 平成18年に20カ所から削減され現在15カ所となっている。投票所の減少により選挙に行きにくいとの声もある。町全体の投票区を調整し、投票所の見直しを協議して年内に回答を出したい。投票所の数の変更は可能だと思う。



永田 耕朗 議員



どう利用する？霧生関

町分譲地の 値下げを

町長 今の価格算出

高知県の人口自然減は24年連続で減少に歯止めがかからない状況である。今後、佐川町で子どもが急激に増えるということは望めないと考える。人口を維持するには移住者を増やして、定住してもらうことが重要ではないか。

片岡チーム佐川推進課長 住宅と働く場の確保が移住を勧める上で一番の課題と考える。町内の空き家等の不動産情報、民間住宅関係者の話も含め、広く情報発信を行う。町内の使用されていない官民の施設を活用し、移住者のための準備住宅について検討している。堀見町長 現在の住宅地価格は、明らかに下がっている。適正な今の値段に基づいて、価格の算出をする。区画面積の分割も検討中。



以前投票所だった下山公民館

《 住民の中へ . . . 地区別に議会懇談会を開催 》

5月2日から30日の間に町内の5地区で議会懇談会を開催しました。

議会からは、26年度当初予算の概要や、3月定例会の内容について説明をし、住民からは霧生園の問題など幅広い意見や要望が寄せられました。

(※は来場者数を掲載)

黒岩地区

5月2日 ※13名

問 佐川町は観光面で遅れている。駐車場、お土産、レストランもない。これでは前に進まない。

問 高北病院の産婦人科でお産ができない、その理由は？

答 お産の施設はあるが、医師確保が難しいのが現状であると報告を受けている。

問 六次産業化のこれまでの取り組みと、今後の基本的考え方を教えてください。

答 具体的には今把握していないので、今後調査し報告を行う。

問 黒岩中央保育所は、移転または建て替えなのかどうか？

答 移転するか、耐震工事となるか町執行部として結論に達していないが、連休明けには結果が出る。

黒岩保育所は26年度中に用地が見つつかれば建て替える方向で現在進んでいる。



どうなる？ 黒岩中央保育所

問 河川改修を早急に行つてほしい。

答 河川改修は早急に必要である。町ではなく県の事業でもあるので議員全員で努力していきたい。

問 若者が定住するための働く場がない。町内で確保する努力をしてほしい。

答 町の方針として、自伐林業で地域経済を發展させる取り組みが始まっている。新規就農者への支援事業もある。大規模な工場誘致は厳しい。

尾川地区

5月9日 ※15名



水路に蓋があれば少しは広くなる (尾川県道)

問 霧生園公園は議会も賛成して始めているのに今になって白紙に戻すという。ここまでできているので無駄にしないよう事の処理をお願いしたい。

答 執行部がしっかりと考えるべきだ。議会としては注視していかなければならない。

問 県道の高平橋にある尾川への案内板が分かりにくい。改善を。

答 県に伝え改善していく方向で努力する。

問 尾川地区の県道で住民センターの入り口から下の橋までが狭い。側溝へ蓋をして広げられないか。

答 指摘の場所は狭い、通学路でもあり県土木に要望書を出しているがまだ返事はない。

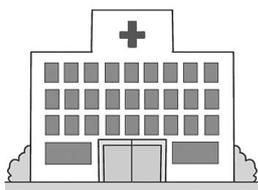
水利組合の許可も要るので今後、県土木に話しをしたい。

問 人口減少は大きな問題である。子育て支援や若者定住とか、尾川地区では活性化協議会を通じてみんなで頑張っている。議員も一丸となって良い方向を検討していただきたい。

答 働く場所が必要だ。しかし企業誘致も難しい。子育てのしやすい環境を整えていくことが必要だ。

問 高北病院は改築されたが、患者が減っているのではないか。

答 21年度からの資料があるが、外来は少しずつ増加している。また、入院は98床中、平均90床以上利用されている。



— 住民の信頼に応えられる議会へ —

加茂地区
5月16日 ※22名

問 霧生関公園は火薬庫を移転して実施すればいいのでは。

答 火薬庫を移転すれば問題が解決するとは思いますが、なかなか難しい状況である。

問 議会での一般質問の時間が速くなった理由は。

答 質問時間は変わらないうが、現町長の答弁が明快なため短くなった。

問 加茂地区住民センターの耐震化、公園の整備、もつかる農業の振興をお願いする。

答 耐震化については、なるべく早くやらなければと思う。公園は住民より意見を出してもらい執行部と考える。農業は大事との認識もあり執行部へ意見を伝えたい。

問 土佐石灰跡での産業廃棄物処理による井戸水への水質調査を。

答 保健所、役場、自治会長、加茂地区議員で当事者と協議した。水質検査を予定している。

問 救急車、消防車の入りにくい道についてどう考えているか。給食費の値上げ単価は。

答 道の拡幅は議会としても取り組んでいく。給食費は一食分10円の値上げである。

問 大阪大学との産官・学の連携による企業起こしは怎么样了。

答 平成24年度で予算を止め、町長が今年4月に大学に行き事業を断っている。

問 女性議員が複数となり議会は変わったか

答 女性の立場で話ができるようになった。

問 デマンドバスが必要、今後の取り組みについて聞く。

答 デマンドバスは2年

かけて町が検討する。

問 ソーラー発電の収入の見込みは。

答 西佐川のソーラー発電では町に20年間で約1億6千万の収益が見込まれる。

問 県道の拡張工事については議会でも早急に完成するようお願いしたい。

答 みなさんと話し合い、県に要望を出したい。



老朽化した加茂地区
住民センター

斗賀野地区
5月22日 ※27名

問 霧生関公園は前町長が提起し、議会で議論され承認した。火薬庫が撤去される見通しで議会は承認したのか。また、町長がかかり、白紙に戻したら、交付税措置はどうなるか。

答 霧生関は影地で公園にはふさわしくないとと思うがどうか。

問 最初は残土処理のため始まった。火薬庫は将来的には移転をしてくれる方向であったと理解している。交付税を全て返還となると3億1千何百万が町負担になる。貴重な意見として聞かせていただく。

問 ナウマングラウンド、気軽に誰でも使えるグラウンドにしてほしい。

答 今は、だれでも自由に利用できるようになっていく。

問 県外視察は大事なことでだが3、4人のグループで行ったら4カ所に行ける。全員参加は親睦旅行としか人は見ない。

答 観光ではなく全て視察だ。人数については検討する。2、3人で行っても対応してくれないところがある。

問 保育料をもっと安くするべきではないか

答 子どもを増やすことが将来の一番大事なことでと思う。議会のほうも取り組んでいきたい。

問 町長が自伐林業に力を入れ、雇用をしたということだが、経費が発生する。それに見合う施策になるのか。雇用の形態は。

答 自伐林業での雇用はすべて補助金で町の持ち出しはない。臨時雇用となっている。

問 佐川町の小、中学校の実態を捉えて議会は対応しているか。

答 議会も教育問題についてさまざまな質問をしている。いじめ問題は、若干あり、学力は、少し上がっていると聞いている。



女性がたくさん参加した斗賀野会場

佐川地区

5月30日 ※19名

佐川会場でも多くの方から霧生関の質問がありました。斗賀野地区と内容が重複するのでこちらをご覧ください。

問 西佐川駅東のメガソーラーは、メガソーラー、メリット、メリットもあつては、配当金等、よく検討されたものか。

答 西佐川駅東の町有地は、元々、公共下水道事業の処理場として利用する予定の土地であったが、公共下水道事業の廃止に伴い、環境に優しいソーラー発電事業へ有効利用することになっている。

町・県・業者の三者で出資し、新会社を設立し、事業を開始するもので、町への配当金は、今後20年間で約6千7百万円が見込まれている。

問 図書館の話があつたが、利用しやすい図書館

になるよう検討してほしい。桜座は敷地が広いので、そこで桜座、青山文庫等、総合的に管理するようにはどうか。

答 図書館については、常任委員会でも、複合してよい場所へ、という検討をしている。

問 歴史まちづくりに関し、設計調査の予算が計上されている。どのような目的を持ってやっているのか。電柱もあり見苦しい。

答 上町全体を歴史的なまちづくりの事業として国の認定を受けてやっている。電柱の件は、執行部と話す。

問 議員は、議場に少なくとも5分、10分前には着席すべきと思う。

答 ブザーを鳴らして召集することになっている。

問 議会定数、報酬に関して、今の定数、報酬でよいのか。少数精鋭でエック機能を十分に果たしながら、密度の高い議会活動ができるような案をつくり上げてもらいたい。

答 議員定数は、高知県内で、住民数に対する議員数は低い。千人に1人の割合だ。若い人にも出してもらいたい、特効案がない。



メガソーラー予定地 (西佐川駅東)

各地区でのその他の要望、意見

- 佐川は、たくさんの方が出ているので、歴史館があつてもよい。
- 自主防災は組織ができた後の活動が大事だ。町は、その活動支援をすべきだ。
- 議会懇談会の日程。もっと早く知らせてほしい。
- 議員の一人一人の声を聞きたい。
- 黒岩多目的集会所のトイレの改修を。
- 高速道路から佐川までの国道の渋滞緩和策を。
- ジェネリック医薬品について。
- ボイ捨ての罰則条例を検討しては。
- 高知西バイパスの完成時期は。
- 女性の意見が反映される町。
- 自伐林業に期待する。
- 懇談会の終了時間を検討してほしい。
- ごみの収集問題、どうなっているのか。
- 産業廃棄物どうする。
- 議会懇談会は町政の報告会ではないので内容をもっと検討して。
- 道の駅、品数が少ないと無理ではないか。
- 霧生関に関して多くの意見が出ました。今までの経過をまとめてみました。最初はサッカー場2面造成のための残土処理場を確保するため、公園整備を名目とし、土地を購入した。しかしサッカー場が1面になったため残土処理の必要がなくなりその土地は約8年間使用していなかった。その後、佐川中学校、国道494号、国道33号佐川歩道トネルの残土処理場として利用する目的で財源的に有利な起債を利用するために公園整備計画が再度浮上した。
- 今後の使いかたでは起債の繰上償還を求められる場合もある。

あれはどうなったか?



不妊症、不育症の治療費 公費助成に取り組むべき

(平成25年6月定例会)

少子化対策の最優先課題として、不妊症、不育症の治療費に対しての公費助成に取り組むべきだ(松浦議員)

榎並谷前町長 答 弁

平成26年度から不妊治療費助成開始

平成26年度から、町単独事業としての不妊治療費助成を開始した。不育症の治療費助成は未実施。

どう
なった

実施できる方向で進める

町としてどのような形の援助ができるか、実施できる方向で進める。

あの質問のゆくえ

No.30

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか?

次の定例会は9月5日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

委員長	森 正彦
副委員長	片岡 勝一
委員	邑田 昌平
委員	坂本 玲子
委員	下川 芳樹

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をあ寄せください。

まもなく終戦記念日がやってきます。学校で子供たちは平和集会を行い平和の大切さを学んでいます。

大正14年治安維持法ができ言論の統制が進み、日本は戦争への道突き進んでいきました。佐川町でもたくさんの人々が命を落としました。母親たちは、わが子を二度と戦場に送らないと誓いました。

過去に学び、過去の教訓を生かして未来を切り開かなくてはなりません。自分の子供や孫の未来のために、何を残したいのか、何を残してはいけないのか考える時ではないでしょうか。

坂本

編集後記

若い力

町内の地域で頑張る若者たちを紹介していきます。今回は25年近くも続いている佐川少年サッカースクールを指導している皆さんにお話を伺いました。



和田英昭さん

— 和田英昭さんは、佐川サッカースクールの創始者のひとりですが、チームはずいぶん活躍しましたね。少し、紹介していただけませんか。

和田さん 全国大会へは8回出場しました。Jリーグにも4人、他にもたくさんの子どもたちが夢を持つとともに、仲間とともに楽しくサッカーをして巣立ってくれました。その教え子たちが現在スクールの子どもたちを指導してくれるのはうれしいですね。

— 味元貴志さんは現在代表を引き継いでいるとのことですが。

味元さん 佐川サッカースクールに育ててもらい、今の自分があります。子どもたちの成長のために指導させてもらえれば、恩返しになるかなと思っと思っています。



味元貴志さん

— 現在のチームの状況は。

味元さん 現在小学生93人が所属しています、学年別にそれぞれのコーチが指導しています。子どもたちはよく頑張っており、高知県内のトップレベルにあります。今年の県大会では準優勝で、全国大会に行けず残念でした。

— 伊藤真人さん、尾崎信太さんも指導をしてくださっているようですが。



伊藤真人さん

尾崎信太さん

伊藤さん 私たち2人もスクールの出身です。私もサッカーが好きですし、長男も3年生でやっています。恩返しもありますが楽しいです。

尾崎さん 子どもの成長は早く、どんどん上手くなっていくのが楽しみです。ときには、やんちゃもですが、伊藤さんみたいに我が子も教えてみたいですね。

和田さん 若い人がきちんと受け継いでくれるといいですね。

指導して下さる皆さんのおかげで佐川の子供たちが大きく育っています。これからも世代間でバトンタッチができればいいですね。今後の活躍を期待しています。どうもありがとうございました。



県大会で準優勝した佐川サッカースクールのメンバー



サッカースクールの指導者の皆さん